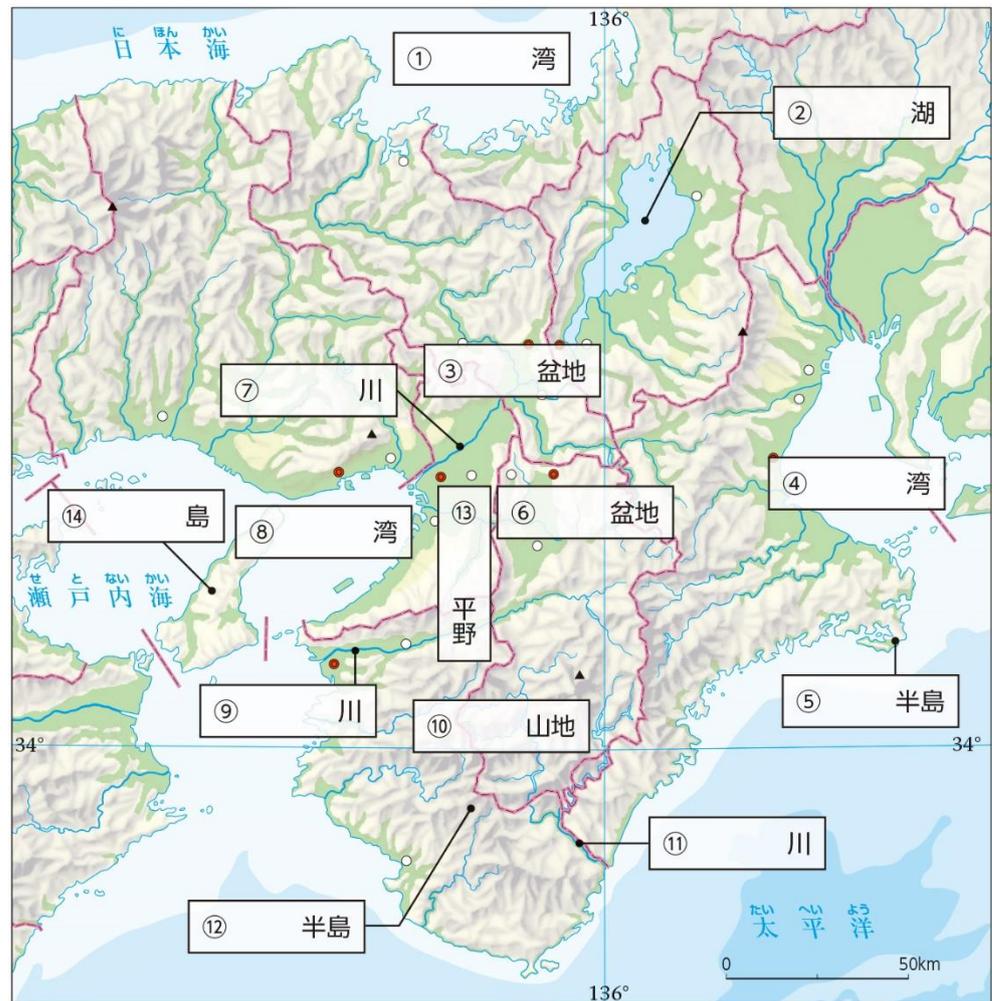


学習のまとめと表現

近畿地方の学習を振り返って整理しよう

教科書対応ページ p.215(参照するページ p.204~213)

②地図を使って  
確かめよう。



①地図中の  にあてはまる地名を書き入れよう。

①	若狭湾	②	琵琶湖	③	京都盆地	④	伊勢湾
⑤	志摩半島	⑥	奈良盆地	⑦	淀川	⑧	大阪湾
⑨	紀の川	⑩	紀伊山地	⑪	熊野(新宮)川	⑫	紀伊半島
⑬	大阪平野	⑭	淡路島				

②京都では歴史的景観を守るためにどのような取り組みが行われてきたか、説明しよう。

(解答例)京都市は、1972年に「市街地景観整備条例」を制定、建物の高さやデザイン、屋外広告を制限している。さらに、歴史的風土保存区域(地域)を指定するための法律や条例を制定している。

※(解答例)教科書 p.206-207 の記述などを振り返りながら。

③阪神工業地帯がどのように変化してきたか、表の空欄に当てはまる語句を下の解答欄に入れよう。

年代	出来事
明治時代	繊維や日用雑貨、食品などの(a 工業)が発達。
第二次世界大戦前	日本で(b )の工業地帯。
第二次世界大戦後	内陸部では、電気製品を中心とする(c 工業), 臨海部では、鉄鋼や石油化学などの(d 工業)がそれぞれ発達。

a	軽	b	最大	c	機械	d	重化学
---	---	---	----	---	----	---	-----

### ③表現しよう。

①【産業】208 ページの資料3「日本の工業地帯・地域の生産割合の変化」から、阪神工業地帯の全国に占める地位の変化について説明しよう。

(解答例) 1960年には、生産割合は日本全体の20%ほどで国内第2位の地位にあったが、年々その割合が低下し、2019年には10%ほどとなっている。その理由は、多くの部品を必要とする自動車工業が少なく、臨海部の工場設備の老朽化などのために工場の閉鎖・移転が進んだからとされる。

※(解答例)教科書 p.208 本文の記述などを振り返りながら。

②【環境】琵琶湖の水質が悪化した原因と、水質を守るために続けられてきた努力について、それぞれまとめよう。

水質悪化原因
(解答例) 琵琶湖は湖水が排出されにくいことに加え、高度経済成長期以降、周辺に工業団地、住宅地が開発されたことで、汚れた産業排水・生活排水、さらに農業排水が大量に琵琶湖に流れ込み、水質が悪化した。

水質を守るための努力
(解答例) 湖の周辺の住民は、「合成洗剤ではなく、天然油脂を主な原料とした粉石けんを使おう」という運動を始めた。この運動は、リンを含む合成洗剤の販売・使用・贈答の禁止や工場排水の規制を盛り込んだ条例の制定、ヨシ群落を復元する活動につながった。

※(解答例)教科書 p.212-213 本文の記述などを振り返りながら。

掲載されている解答は、一つの例です。  
自分の解答が正しいか気になった場合は、  
先生に質問してみましょう。



まっぴんぐま

## ④意見<sup>こうかん</sup>を交換しよう。

\*近畿地方の歴史的な移り変わりに注目して、街並みや工業、都市などの特色を分担して<sup>ぶんたん</sup>まとめよう。また、それをもとに、「近畿地方<sup>かか</sup>が抱える課題」について意見を交換しよう。

※(まとめの例)教科書 p.206-213 の4単元を1テーマずつとして「歴史的な移り変わり」に着目して振り返りながら。

テーマ(例)	歴史的な移り変わり(まとめの例)
街並み (京都市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京町家(京都独特の木造の低層住宅)の変化               <ul style="list-style-type: none"> <li>… 周りの景観と不釣り合いな改装が進む。</li> <li>… 高層の集合住宅の建設が進む。</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市:「長い歴史に育まれた伝統的景観を守る」               <ul style="list-style-type: none"> <li>… 市街地景観整備条例の制定(1972年)</li> <li>… 歴史的風土保存区域指定のための法律・条例の整備</li> </ul> </li> </ul> <p>※古都の景観に配慮した建物が増加</p>
工業 (阪神工業地帯)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代:日本の商業の中心…「天下の台所」</li> <li>・明治時代:軽工業中心の工業地帯=阪神工業地帯(日本最大の工業地帯)</li> <li>・第二次世界大戦後:多様な工業の発展               <ul style="list-style-type: none"> <li>… 機械工業(大阪市~守口市・門真市), 重化学工業(臨海部, 堺・泉北と播磨)</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>※阪神工業地帯の地位の低下…工場の閉鎖や移転が進む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★中小工場 … 不況の影響を受けやすい, 一方で独自の技術をもつ企業も</li> <li>★臨海部 … 交通網の整備, 集客施設, 物流の拠点, 日本国際博覧会の開催場所</li> </ul>
都市 (大阪・京都・神戸)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪…「天下の台所」(江戸時代) → 卸売業・工業が発展(明治時代)</li> <li>・京都…「都」としての歴史 → 大学が多く, 伝統産業・ハイテク産業も盛ん</li> <li>・神戸…「貿易港」として発展 → 阪神・淡路大震災で被災</li> </ul> <p>※京阪神大都市圏(大阪・京都・神戸)…人口で日本第2位の地域</p> <p>※関西国際空港(1994年開港)…国際線が強化(アジア各都市との路線など)</p> <p style="text-align: center;">→ 外国人に人気の高い利点を生かす(京都や紀伊山地など)…複数言語表示の案内板</p>
開発と環境 (琵琶湖)	<p>※琵琶湖:日本最大の湖(流れ込む河川は多数, 流れ出る河川は瀬田川のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かつて:交通路として近畿地方の発展を支える</li> <li>・明治維新:琵琶湖疏水(琵琶湖~京都市, 1890年完成)               <ul style="list-style-type: none"> <li>… 京都市民の飲料水の確保, 水運を開く, 水力による発電, かんがいなど=産業発展のために</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それ以降~現在:京阪神大都市圏に飲料水・工業用水を供給する役割</li> </ul> <p>※琵琶湖の環境汚染</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度経済成長期以降:周辺地域に工業団地, 住宅地の開発               <ul style="list-style-type: none"> <li>= 産業排水, 生活排水が流れ込み, 富栄養化・水質悪化の進行</li> </ul> </li> <li>・淡水赤潮の発生:「合成洗剤ではなく, 天然油脂による粉石けんをしよう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>… リンを含む合成洗剤の販売・使用・贈答の禁止, 工場排水を規制した条例の制定</li> <li>市民によるヨシ群落を復元する活動</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>… 「湖の南部で開発が続く」「水が排出されにくい特徴」=環境問題が克服されていない。</li> </ul>